

# MRI 検査

## ◆MRI 検査とは

MRI は大きな磁石による“強い磁場”と FM ラジオに使われているような“電波”を使って検査を行っています。X線を使用しないため被ばくをすることはありません。

体の半分以上は水分（水素原子）で構成されていることを利用し、体に電波を当てることで水素原子から返ってきた信号を画像化します。トンネル状の大きな機械（磁力が働く空間）の中に入り検査を行います。検査中は工事現場にいるような大きな音がします。

特徴は CT 検査と比べ優れた画像コントラストが得られ、任意の断面を容易に得ることができます。また造影剤を使わずに、あるいは最小限の造影剤量で大きな血管に関する情報を得ることができます。

特に脳疾患、乳腺や子宮などの婦人科疾患、靭帯や四肢関節などの整形疾患、脊椎や神経疾患などの診断に優れます。

## ◆装置の紹介

当院では診断用に 2 台の MRI 装置が設置されています。



3.0 テスラ 『Architect』

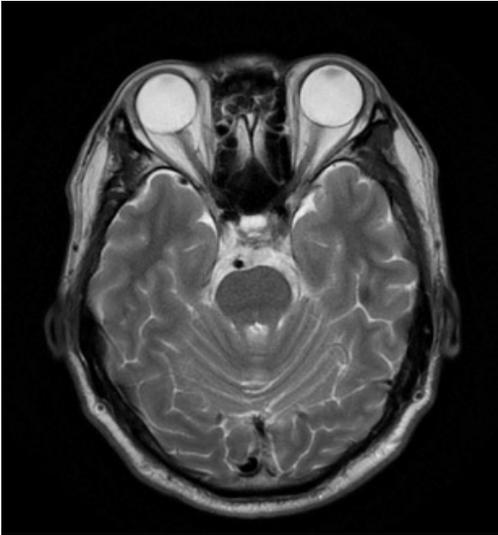


1.5 テスラ 『Signa HDx』

## ◆検査の種類

### 頭頸部領域

脳梗塞や脳動脈瘤、脳腫瘍などの診断に有用です。



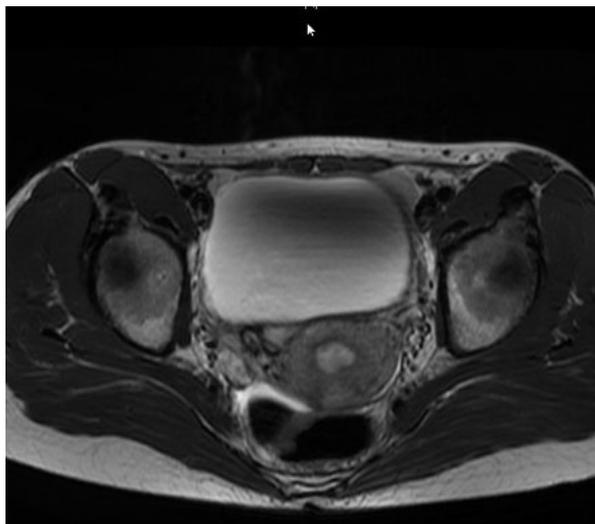
頭部



頭部の血管（MRA）

### 胸腹部領域

乳がんの拡がり診断や、肝臓、胆のう、膵臓、腎臓など腹部臓器、子宮・卵巣や前立腺、膀胱など骨盤臓器の診断に使用されます。



骨盤

## その他

椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症等の脊椎疾患、靭帯や四肢関節の疾患の診断に有用です。



腰椎

### ◆検査について

5～10種類の画像を撮影するため、検査時間は検査部位によって異なり、15分から40分程度です。

造影検査を行う場合は、検査の途中に静脈から造影剤を注射します。撮影部位によっては検査前の食事制限や、検査中に息止めが必要となることもあります。

### ●検査前の注意点

検査室内は強い磁力が発生しています。

金属や磁気カード、電子機器などを持ち込むと機械に吸着したり、破損するため持ちこむことはできません。

安全に検査を行うために検査着に着替え、金属探知機にて体内外に金属がないか確認を行います。手術等で体内に医療機器等がある場合は医師へお申し出ください。

